

同志社大学「次世代研究者」プロフィール

2021年10月現在

基本情報					
フリガナ 氏名	コバヤシ 小林	ルイ 壘	生年	1984年	
氏名(英字)	KOBAYASHI	Rui	メールアドレス	ruikoba773(a)yahoo.co.jp	
学歴	2004年4月 法政大学社会学部メディア社会学科入学 2008年3月 法政大学社会学部メディア社会学科卒業 2009年4月 同志社大学大学院社会学研究科メディア学専攻博士課程(前期課程)入学 2011年3月 同志社大学大学院社会学研究科メディア学専攻博士課程(前期課程)修了 2015年4月 同志社大学大学院総合政策科学研究科総合政策科学専攻博士課程(後期課程)入学 2019年9月 同志社大学大学院総合政策科学研究科総合政策科学専攻博士課程(前期課程)修了				
職歴	2011年4月 株式会社トータルブレイン入社 2013年8月 株式会社トータルブレイン退職 2019年4月 一般社団法人大阪公共サービス政策センター研究員 2020年4月-現在 同志社大学研究開発推進機構特別任用助教(有期研究員)				
指導教員	真山 達志 教授	取得学位	博士号(政策科学)	専修外国語・読解可能な外国語	英語
研究活動					
研究分野	行政学、(政策過程論、行政管理論、行政広聴論)、メディア学(放送政策、放送学)				
科研究分類による研究分野	政治学				
研究テーマ	「地方自治体における広聴制度のあり方」				
研究概要	近年、高度情報化社会の発展により、地方自治体の情報戦略も複雑化している。それゆえに、全国の自治体においては、地域状況を把握するための広聴戦略が近年では注視される傾向にある。しかし、地方自治体においては、組織内で情報がどのように整理され、どのように共有されているのかといった内部情報管理体制に関して不明瞭な部分が多く、行政広聴の先行研究分野においても内部のフィードバックシステムの不在が指摘されている。したがって、本研究では、自治体による受動広聴および能動広聴の政策動向を対象に、組織内部の情報管理システムの実装を把握し、そこから課題抽出を行う。				
研究業績	主要論文(査読有) ・「「開かれた」スポーツ放送政策の構築～アジェンダセッティングの視点から～」『同志社政策科学研究』第21巻第1号pp33-47 ・「日本におけるスポーツ放送政策の構築～アジェンダセッティングの視点から～」同志社大学大学院博士論文 主要学会報告(国内学会) ・「スポーツメディアにおける広聴制度のあり方—東京2020を事例に—」『スポーツメディアと広報研究会』、日本広報学会第25回研究発表大会、於名古屋経済大学 著書 小林壘「放送政策におけるスポーツ」真山達志・成瀬和弥編『公共政策の中のスポーツ』晃洋書房、pp151-168、2021 研究助成 「公共性を担保するスポーツ放送の考察-英国におけるユニバーサル・アクセス権の形成過程を視点に-」小林壘『2017年度笹川スポーツ研究助成成果報告書』pp87-93				
所属学会	日本公共政策学会、日本マス・コミュニケーション学会、地方自治研究学会、自治体学会、日本広報学会、日本体育・スポーツ政策学会、文化経済学会				
キャリア関連					
志望進路	教員(大学・高専等)、研究員(研究機関、企業)				
進路	未定				
自己PR	博士課程在学中より、主に政策過程論や放送政策、メディア学(スポーツメディア論)に関する研究に取り組んでおり、現在は特に行政学における情報管理論、地方自治体広聴の研究を行っています。				
取得資格等	普通自動車免許				

※メールアドレスの(a)は@を表しています